

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立瑞雲中学校
校長名 山下 久也

公印

令和 7 年度 特別支援教室の教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援教室による指導を下記のとおりお届けいたします。

記

1 特別支援教室の教育目標

- (1) 情緒の安定を図り、新しい環境や集団に円滑に適応できる力を育てる。
- (2) 社会性の向上を図り、よりよい人間関係を築く力を育てる。
- (3) 自己有用感を高め、将来に対して前向きに生きる力を育てる。

2 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 情緒の安定を図り、自ら考えて行動する力や他者との関係調整力を身に付けさせる。
- (2) 日常生活の基本的な行動様式を身に付けさせ、社会性の向上を図る。
- (3) 個別、及び小集団による指導を通して、ソーシャルスキルを身に付けさせる。
- (4) 制作活動や体験的活動を取り入れ、豊かな心情を育むとともに、自己表現力を高め、活動の充実感を味わわせる。
- (5) 特性に応じた学習課題や学習方法を理解させ、学習意欲を高める。
- (6) 本人の得意な分野を伸ばし自信を付けさせ、在籍学級での適応を促す。

3 指導の重点

- (1) 言語発達やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、他者との関わりを通して自己理解を深め、豊かな自己表現ができる力を育てる。
- (2) 日常的な挨拶・会話、小集団でのソーシャルスキルトレーニングなどを通して、コミュニケーション能力の習得と改善を図る。
- (3) 運動機能の発達を促し、運動能力の向上と体力の保持増進を図る。
- (4) 感覚機能の向上を促し、制作活動や体験的活動を通して、豊かな心情を育て、自己表現力を高める。
- (5) 特性に応じた学習課題や学習方法を理解させるための自立活動を行い、認知能力の向上を図ると共に学習意欲を高める。

4 その他の配慮事項

- (1) 特別支援教室で学ぶ意義や目的について、生徒・保護者、学級担任と共通理解を図りながら指導にあたる。
- (2) 特別支援教室担当教員、特別支援教室専門員、巡回相談心理士との連携を図り、指導内容及び学級生活についての情報を共有して指導の充実に努める。
- (3) 授業観察などを通して個々の生徒の実態を的確に把握し、学校生活支援シートや連携型個別指導計画に基づいて、目標を明確にした指導の充実に努める。
- (4) 在籍学級での対応力を身に付けるために、生徒一人一人への目標を明確にした授業を実践し指定期間での退室を目指す。